

# がまごおり 議会 だより

## ● 5月市議会臨時会・6月市議会定例会 ●

- 5月臨時会／議決された主な議案 …… 2～3
- 6月定例会／一般質問…ここが論点 …… 4～7
- 6月定例会／議決された主な議案 …… 8～10
- 委員会通信 …… 11
- 議会日誌、9月定例会予定 …… 12

NO. 61  
2009.8



プールで水遊びを楽しむ子どもたち(ラグーナ蒲郡・ラグナシア)

# 正副議長の選挙・各委員会の構成などを決定

5月臨時会  
議案

5月市議会臨時会は、5月13日、14日の2日間、28日の1日の会期で2回開きました。13日、14日の会期では、鎌田篤司議長、伴捷文副議長を選出し、各委員会の構成を決めました。また、議案4件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。28日の会期では、議案1件を審議し、原案のとおり可決しました。その主な内容をお知らせします。

## 5月臨時会の日程

13日	本会議〔会期の決定、議案説明等〕 総務委員会
14日	本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決、正副議長の選挙、監査委員の選任、委員会委員の選任等〕 総務委員会 経済委員会 文教委員会 議会運営委員会 国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会
28日	本会議〔会期の決定、議案説明、質疑、討論、採決〕

●市職員の給与等の改正  
(第36号議案)  
人事院勧告に伴い、6月

### 条例の改正

地方税法等の改正に伴い、土地の固定資産税の負担調整措置を21年度から23年度まで、現行の制度を継続することになりました。固定資産税の据置年度に評価額を下落修正できる特例措置についても、22年度、23年度と現行の制度を継続することになりました。

### 専決処分の承認

●土地の固定資産税の負担調整措置を継続  
(第32号議案)

議会選出の松本昌成委員の辞任に伴い、後任委員として波多野努議員を選任することに同意しました。

### (第35号議案)

●監査委員の選任

### その他の議案

に支給される市職員の期末手当及び勤勉手当と市長、副市長、教育長及び議員の期末手当の支給割合が暫定的に引き下げられました。今回の改正により、職員は期末手当を0・15月と勤勉手当を0・05月のあわせて0・20月分を、市長、副市長、教育長及び議員は期末手当を0・15月分それぞれ引き下げられました。

区分	氏名 (◎委員長 ○副委員長)
議長	鎌田篤司
副議長	伴捷文
監査委員	波多野努
常任委員会	総務委員会 ◎莊田博己 ○飛田常年 松本昌成 新実祥悟 鈴木八重久 柴田安彦 小林康宏 波多野努
	経済委員会 ◎来本健作 ○野崎正美 大向正義 藤田勝司 竹内政住 大竹利信 伴捷文
	文教委員会 ◎伊藤勝美 ○大場康議 土屋善旦 小林優一 日恵野佳代 鎌田篤司 喚田孝博
議会運営委員会	◎喚田孝博 ○大場康議 飛田常年 伊藤勝美 鈴木八重久 柴田安彦 莊田博己
国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会	◎藤田勝司 ○来本健作 柴田安彦 鎌田篤司 竹内政住 大竹利信 大場康議 野崎正美

## 議長に鎌田篤司議員 副議長に伴捷文議員を選任

5月14日の議案審議の終了後、土屋善旦議長の辞職に伴い、議長の選挙が行われました。投票の結果、鎌田篤司議員が第56代議長に当選しました。

続いて、波多野努副議長の辞職に伴い、副議長の選挙も行われ、投票の結果、伴捷文議員が第58代の副議長に当選しました。

### 各委員会の内容は

#### ●常任委員会

市の事務の部門ごとに置かれ、それぞれの部門に属する事務の調査を行うとともに、議案、請願などの審査をします。

各委員会の主な担当事項は次のとおりです。

#### ○総務委員会

行政の総合的な企画・調整、予算、財産、消防など。監査委員、選挙管理委員会に関する事など。他の委

員会に属さないことは総務委員会を担当します。

#### ○経済委員会

観光、産業振興、道路、河川、公園、都市開発、上下水道、区画整理、競艇事業など。

#### ○文教委員会

市民生活、健康、福祉、市民病院、教育など。

#### ●議会運営委員会

議会運営を円滑に行うために置かれ、会派間の意見調整と会議を能率的に進行

させる役割を担う委員会です。

他の委員会が所管の議案等を審査するのに対し、議会運営全般にわたる事項を審査するのが特徴です。

#### ●国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会

市街地の交通緩和と観光及び産業経済活動の活性化に期待される国道23号蒲郡バイパスの諸問題の調査研究と早期建設を図るために設置されています。

## 就任 あいさつ



副議長 伴 捷文



議長 鎌田 篤司

日ごろから市政全般にわたり、市民の皆さまには温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、私どもは、5月市議会臨時会におきまして、議長・副議長に就任いたしました。その重責を担うとともに、職務の遂行に全力を傾ける所存でございます。

最近では、政府が「景気底打ち宣言」に踏み切りましたが、企業の業績不振を背景に完全失業率は5%の大打に乗り、所得環境も急激に悪化しています。雇用・賃金環境の悪化から個人消費の持ち直しも力強さに欠け、実際の景気実感は、「底打ち」にはほど遠いものとなっております。

このような時こそ、限られた財源をよりいっそう重点的かつ効率的に運用し、市民の皆さまの要求・要望を市政に反映させることが必要となってきます。

そのために市議会の果たす役割は非常に重要です。議決機関として皆さまの意思を迅速に察知し、市政に反映させていくことと、また、皆さまの代表として市政運営の監視機関であることも十分認識しなければならぬと考えています。

私たちの蒲郡をいっそう住みよいまちにするために頑張りますので、皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

### 5月臨時会で審議された議案の一覧

5月13日・14日

- 専決処分の承認
- ③2 市税条例の一部改正
- 条例の一部改正
- ③3 市税条例等の一部改正
- 同意
- ③5 監査委員の選任
- その他
- ③4 工事請負契約の締結（形原中学校南棟校舎新築工事）

5月28日

- 条例の一部改正
- ③6 市職員の給与に関する条例等の一部改正  
（○内の数字は議案番号。③6は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決・承認されました。）

# 一般質問…ここが論点

## 6月定例会

6月市議会定例会中、10日、11日、12日の3日間で、市政全般について14人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、6月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも9月上旬の予定です。

また、インターネット録画中継も実施していますのでご覧ください。

### 大向正義（未来の会）

蒲郡市医師会の委託費  
不正受給について

**問** 4月8日の第5回及び5月18日の第6回弁論準備手続きの内容は。

**答** 第6回の弁論準備手続きにおいて、資料の差し替え等はあるものの、管理費や旅費に関する資料も提出されたので、これで、平成15年度分の被告側資料が出揃ったということである。なお、次回弁論準備手続きは8月12日である。

協働のまちづくり  
について

**問** 協働のまちづくり基金で実施する事業を明確な形で明示する必要があるのではないか。

**答** 細かな使い道を記載するのは適当でないという意見をいただき、その考え方を尊重して条例化をしたが、大向議員提案のNPO法人設立支援に関する事業、協働のまちづくりを担

う人材育成事業などは、もつともな事業だと思う。

### 大場康議（市政クラブ）

五井線の進捗状況  
について

**問** 蒲郡の道路基盤整備が着々と進む中、市民病院、新消防庁舎に直結する五井線の必要性はだれもが認めているところである。そこで、五井線の現状と、今後の見通しについて伺う。

**答** 都市計画道路蒲中線から南約130m区間が未供用となっている。地権者との交渉は暗礁に乗り上げており、非常に難しい状



五井線

態だが、任意の買収に向けて交渉していきたいと思っている。また、これに並行して、土地収用を視野に入れた事務処理を進めている。

**問** 任意交渉が進まない中、収用を柱に進めることが公共のため、また財政的にも得策と思うがどうか。

**答** 五井線については、早期に事業を完了したいと考えており、こうした状況をなれば土地収用の手法を講じざるを得ないと思っている。収用に伴う事業認定申請を平成22年度に提出できるよう努力する。

### 日恵野佳代（日本共産党）

障がい者が人間らしく暮らせる支援について

**問** 障害者自立支援法の応益負担制度の廃止を市として国に求めるべきではないか。

**答** 国会会の障害者自立支援法の一部改正案の中で、負担の軽減を図ると提案されているので、国の動きを待ちたい。

**問** 事業所に対する報酬の引き上げや、支払い方



式を月額制に戻す、そして公費の投入によって職員の賃金のアップというのを国に求めるべきではないか。

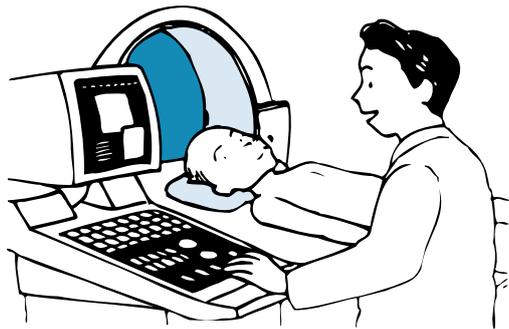
**答** 特にそのことについては国にとりようなことは考えていない。

**問** 蒲郡駅の鉄道高架下にカフェ等障がい者の出店支援をしてはどうか。

**答** 出店費用の関係、採算性等もあり難しいが、チャレンジショップ等での試行、訓練を働きかけたい。

その他の質問

1 新型インフルエンザ対策について



荘田博己(未来の会)

市民の健康維持と  
救急医療について

**問** 公立病院における医師不足の対応策は。

**答** 医師の確保ができるまで医療に若干の制限を加えざるをえない。医師の増員について県全体で考え、病院団体を通じて厚生労働大臣に是正を求めていく。議会からも国に働きかけをお願いしたい。

**問** 7対1看護体制が引き起こす看護師不足の対応策は。

**答** 遠隔地からの採用を含め、現地に足を運び募集に回っている。在職者の定着にも努めたい。

**問** 特定(メタボ)健診のあり方やペナルティの撤廃を県や国に対して申し出るべきではないか。

**答** 全国市長会をはじめ、さまざまな方面から国に要望を提出している。

- その他の質問
- 1 独自の学校教育
  - 2 情報ネットワーク

飛田常年(市政クラブ)

遊休農地の解消  
について

**問** 遊休農地の解消に有効な農地保有合理化事業について、JAから何か聞いているか。

**答** 県の事業承認後未着手であったが、本年11月までに保有農地の実績を上げたいと聞いている。

**問** 市として保有農地の維持管理費を負担する考えはあるか。



**答** 市単独支援は難しいが、遊休農地の解消に関連機関の連携は必要であるので、別の方法を検討したい。

街路灯・防犯灯の  
LED化について

**問** 街路灯や防犯灯にLED照明灯を採用する考えはあるか。

**答** LED照明灯は始めの製品で、設置費用が高価である。CO2削減効果もあり、今後の技術開発により安価になれば、LED照明灯への切り替えを検討する。

藤田勝司(市政クラブ)

水産振興について

**問** 近年実施した水産振興事業とその効果について伺う。

**答** 抱卵ガザミ放流事業は、約1900尾の放流で約3万尾の放流と同等の効果がある。燃料改質器導入事業は、前年度に導入実証実験を行い、本年度に漁船8隻を対象に助成を行う。漁民の森林づくり活動や環境・生態系保全活動支援事業は、目に見える効果はな



形原漁港

**問** いが、将来に向けて漁業環境の保全のため必要な事業である。蒲郡めひかりブランド化推進事業も3年をめどに認可に向けて努力する。水産振興に対する市の考えと今後の振興策について伺う。

**答** 漁業者からの意見要望を十分把握して、市民生活に密着した漁業の振興、つくり育てる漁業、資源管理による漁業等を推進したい。また、市内の漁協と相談し、県漁業振興協議会にアサリの放流を要望したい。

野崎正美(市政クラブ)

竹谷柏原線の  
今後の取り組みは

**問** 竹谷柏原線の早期完成が待たれるが、今後の取り組みはどのようなか。

**答** 蒲郡西インターの南交差点から新幹線北まで、市において、一部暫定2車線として工事を進めている。この先線となる都市計画道路・竹谷柏原線は重要なアクセス道路である。蒲郡インターが供用開始と

なる平成20年代前半までには事業着手していただくように、今後も引き続き県に強く要望していく。

### 急傾斜地への対応は

**問** 急傾斜地の危険箇所への対応はどのようなか。

**答** 毎年1回、県と市の担当者で点検を行っている。土砂災害のおそれのある区域についても周知を行っている。同時に急傾斜地崩壊危険箇所が危険区域に指定されるように、今後も県に要望していく。

### 喚田孝博（市政クラブ）

### 3検討委員会の報告にどのように取り組むのか

**問** 検討結果が報告されたが、今後の取り組みは、企業用地確保は、地元と協議中。生命の海科学館は、策定委員会で具体化を図っていく。東港は9月補正予算か交付金などを利用して整備したい。

**答** 今後、どのように取り組んでいくのか。



### 厳しい経営環境に直面する中小企業支援は

**問** 市独自の支援策は、どのようなものか。

**答** 商工会議所と連携し、市の出前講座から4講座を1日コースにまとめて3日間開催する。今後も対応していきたい。

### 名鉄存続に対する市民総ぐるみでの対応は

**問** 今後、どのように取り組んでいくのか。

**答** 「名鉄西尾・蒲郡線利用促進市民応援団」を9月下旬に発会したい。

### 小林優一（未来の会）

### ユトリーナ蒲郡でのシニア利用券の導入は

**問** 高齢者の健康保持増進のため、無料もしくは割り引きで利用できるようなシニア利用券等を導入する考えはないか。

**答** ユトリーナ蒲郡の利用は、介護予防などにもたいへん有効であると考えられる。しかし、料金を割り引くとなると、民業を圧迫する懸念もあり、運用方法や割り引きのあり方などを研究する必要があると考える。



ユトリーナ蒲郡

### 危険交差点への信号機の設置について

**問** 形原町の東中畑と田土山1号線の交わる交差点に、信号機を設置するための問題点は何か。また、最初から信号機を設置することはできなかったのか。

**答** 信号機の設置については、右左折等をする場合の角をとるための用地確保が問題となる。最初から信号機を設置することは、公安委員会が認めなかった。

### 来本健作（未来の会）

### ウォーキング・サイクリングロードの整備を

**問** 蒲郡市の観光振興に、たいへん効果的と思われるウォーキングロードやサイクリングロードの整備状況は。

**答** 経済状況が厳しいので、新たにサイクリングロードを建設することは難しい。ハード事業よりもソフト事業を中心に、ウォーキングマップやサイクリング

西浦温泉



マップを作成し、蒲郡市を訪れる方に市内をゆっくり楽しんでもらいたい。

### 「赤ちゃんの駅」の設置について

**問** 子育て支援の取り組みの一環として、外出中の授乳、おむつがえ、ミルクのお湯の提供などで立ち寄ることのできる施設を「赤ちゃんの駅」として登録している自治体が全国に広がっている。この事業に取り組み考えはないか。

**答** 他市町の例を見ながら、研究させていただく。

伊藤勝美（公明党）

自然還元式（排泄溝）  
トイレの拡充策は

**問** 自然還元式トイレの第1号ができた。いざというときのために、早くも全避難所に設置していくべきだと考える。今後の拡充策について伺う。

**答** 資機材の収納が可能であり、かつ十分な敷地を確保できる条件を満たせるのは小中学校しかないと考えられるので、学校を管理する教育委員会との調整を進めて行きたい。

緊急用アドレナリン  
自己注射の取り扱い

**問** 食物アレルギー等が原因で起こるアナフィラキシーショックに対処するための緊急用アドレナリン自己注射の教職員による取り扱いについて伺う。

**答** 症状を起す疑いがある生徒は、健康調査で中学校10名、小学校17名と把握している。取り扱いに

ついて十分理解するように指導しているところである。

柴田安彦（日本共産党）

ピークカットによる承認  
基本給水量の引き下げ

**問** 地震が起きたときの非常時の水は、耐震水槽を想定しない場合でも4200トンの余裕がある。この水を使いピークカットをするべきだと考えるが、承認基本給水量をどのぐらいに抑えようとしているのか。

**答** 今年度3万6000㎡で県から承認されている。実際には、最高になる夏場の給水量が3万4000㎡であるが、この水量決



定は温水による節水を考慮に入れたものであるため、約2000㎡の余裕がある。

**問** ピークカットの目的は、承認基本給水量をピークカットで下げ、県への支払いを安くし、水道料金の値下げにある。承認基本給水量を下げずにピークカットを行うのは何のためか。

**答** 夏場に需要量が大幅に増加し、受水量が突出することが考えられることから、承認基本給水量を超えないようにピークの標準化を図るためである。

新実祥悟（無会派）

指定管理者制度の  
導入見送り

**問** 蒲郡市集中改革プランで平成22年度から指定管理者制度の導入を予定している施設は、予定通り募集していくのか。

**答** 平成22年度の指定管理者の新規予定はない。ひめはる荘への導入をなぜ見送ったのか。

**答** 利用者数も減少していることもあり、今年度

に廃止を含めて検討することにしたためである。

三河湾の環境改善  
について

**問** 三河湾の環境改善への本市の取り組みを伺う。本市は三河湾浄化推進協議会豊川流域部会に属しており、啓発グッズの配布、海の大切さをPRする三河湾環境講演会、海岸の漂着ごみ・散乱ごみの回収、アオサの除去作業を実施している。また、国、県の補助を受け、アマモの移植作業を行っている。

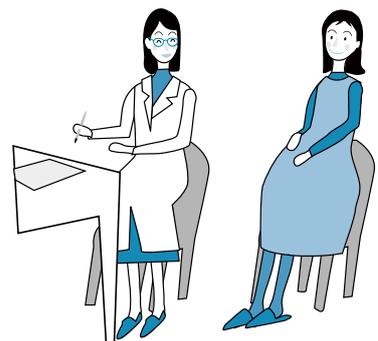
**答** 協議会豊川流域部会に属しており、啓発グッズの配布、海の大切さをPRする三河湾環境講演会、海岸の漂着ごみ・散乱ごみの回収、アオサの除去作業を実施している。また、国、県の補助を受け、アマモの移植作業を行っている。

松本昌成（公明党）

女性特有のがん検診  
推進事業について

**問** 新経済対策では女性のがん対策があるが、市の取り組みを伺う。

**答** 子宮頸がん検診は20歳から40歳まで、乳がん検診は40歳から60歳まで、それぞれ5歳刻みの対象者の「がん検診台帳」を整え、検診費用が無料となる「が



スクールニューデール  
構想

**問** 市の取り組みについて伺う。

**答** 平成21年度から23年度で全学校に太陽光発電装置の導入、校舎耐震化の前倒し、電子黒板機能の付加が可能なデジタルTVを全学校の校舎各フロアに1台導入、中学校6校分のコンピュータ教室用パソコンの更新等を計画している。

# 障がい者歯科診療所の開設 などを議決

6月定例会  
議案

6月市議会定例会は、6月10日から22日までの13日間の会期で開き、議案11件、意見書案1件を審議しました。

障がい者歯科診療所の開設など、主な内容をお知らせします。

## 条例の改正

●公共駐車場使用料の  
減免を規定  
(第38号議案)

国または地方公共団体が、災害救助活動その他緊急を要する公務を行う場合や駐車場の管理業務のために駐車場を使用する場合などに公共駐車場の使用料を減免する規定が新たに設けられました。

○経済委員会での主な質疑  
問 今回、使用料の減免を新たに設けたのはなぜか。  
答 7月に北駅前公共駐車



蒲郡北駅前広場

場がオープンするのを機会に、正規に規定することとしました。

問 公用車が、駐車場の管理以外のことでは駐車した場合は使用料を支払うのか。  
答 公務で必要と認められる場合には、使用料は減免されます。

●障がい者歯科診療所を  
7月から開設  
(第39号議案)

蒲郡市保健医療センター  
において、7月9日から障

がい者歯科診療所事業が始まります。そのため、蒲郡市保健医療センターの設置及び管理に関する条例の一部改正を行いました。

○文教委員会での主な質疑  
問 「障害者」の「害」の字はひらがな表記になつて



保健医療センター

いることが多い。診療所の看板などはひらがな表記にしたらどうか。

答 条例については、法的に漢字表記にしていますが、看板や市民にお知らせすることは、すべてひらがな表記にしていきます。

## 6月定例会の日程

- 10日 本会議〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、一般質問など〕
- 11日 本会議〔一般質問〕
- 12日 本会議〔一般質問〕
- 15日 総務委員会
- 16日 経済委員会
- 18日 文教委員会
- 22日 本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決など〕

問 認知症の方もこの診療所が利用できるように考えていると聞いているがどうか。  
答 当面は、知的障がいの方を優先的に行い、将来は、認知症の方や精神障がいの方もと考えています。

問 市外の方の受け入れについてはどのように考えているか。  
答 市外の方から申し込みがあればお受けしますが、まずは市内の方を優先したいと考えています。

●国民健康保険税の見直し  
(第40号議案)

地方税法等の改正に伴い、国民健康保険税の介護分の課税限度額が9万円から10万円に引き上げられます。また、課税限度額が引き上げられることから、介護分の被保険者均等割額が現行の8700円から7700円に引き下げられます。なお、被保険者均等割額軽減額についても、7割軽減世帯で700円、5割軽減世帯で500円、2割軽減世帯で200円それぞれ減額されます。

■ 6月定例会で審議された議案の一覧

○条例の改正

- ③7 手数料条例の一部改正
- ③8 公共駐車場条例の一部改正
- ③9 保健医療センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
- ④0 国民健康保険税条例の一部改正
- ④1 看護師等修学資金貸与条例の一部改正

○補正予算

- ④5 平成21年度一般会計補正予算(第1号)
- ④7 平成21年度一般会計補正予算(第2号)

○その他

- ④2 監査委員の選任
- ④3 人権擁護委員の候補者の推薦
- ④4 市道の路線認定、廃止及び変更
- ④6 財産の減額貸付

(○内の数字は議案番号。すべて全会一致で可決されました。)



○文教委員会での主な質疑  
問 均等割額を下げたのはどのような考えからか。  
答 国民健康保険税の介護分における応益割と応能割の比率において、応益割が少し高くなっておりましたので、応益割合を引き下げることとし、その中で、被保険者の数に応じて賦課する均等割額を引き下げることとしました。

●助産師確保のための修学資金貸与額を増額(第41号議案)  
問 助産師確保のため、助産師養成施設に修学している者に対する修学資金の貸与額を現行の1月につき6万円を7月1日から12万円に増額します。  
答 限度額を引き上げることで5・98%となり、同時に均等割額を引き下げますので最終的に5・73%に減少すると推計しています。

■ 陳 情

○住民の暮らしを守り、公共サービスの充実、格差の是正、働くルールの確立、平和な世界の実現などを求める陳情書  
提出者 愛知県労働組合総連合  
議長 羽根 克明氏 ほか2団体  
審査結果 不採択

本会議のインターネット録画放映

インターネットで本会議全体を録画放映しています。

一般質問に加え議案説明や議案の採決の様子もご覧になることができます。ぜひご利用ください。

インターネット放映のリンク先

<http://stream.city.gamagori.aichi.jp/gikai/act/chukei/index.html>



■ 意見書

①地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の延長に対する意見書  
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣(防災)、消防庁長官、林野庁長官、水産庁長官

(○内の数字は、意見書案番号。全会一致で可決されました。)



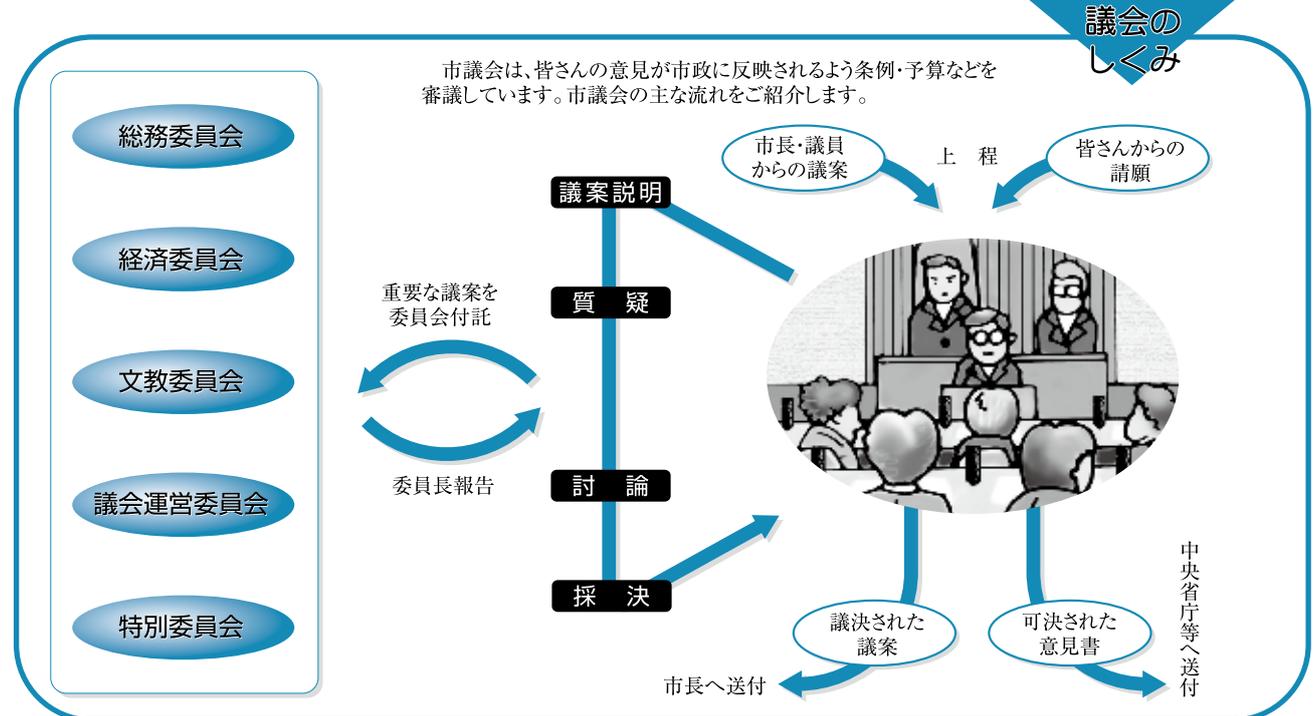
**○文教委員会での主な質疑**  
**問** 助産師数の状況はどのようなか。  
**答** 4月1日に在籍した総数で、平成16年度は17人、平成17年度は16人、平成18年度は17人、平成19年度は19人、平成20年度は15人、平成21年度は11人でしたが、4月末に1人が退職しております。  
**問** 市の看護師が助産師の学校に行く場合、身分の保障はされるのか。  
**答** 身分をそのまま残した形というのは現状では難しいですが、今年度中には人事課とどういう方法がある

6月定例会で議決された平成21年度補正予算(千円)

会計名	補正の主な理由	補正額	歳入・歳出 予算の総額
一般会計 (第1号)	子育て応援特別手当給付事業費 (2,196千円)	234,900	24,278,900
	緊急雇用創出事業費追加 (27,110千円)		
	道路新設改良事業費追加 (200,100千円)		
	学校諸活動支援事業費追加 (1,714千円)		
	公民館管理運営事業費追加 (1,280千円)		
	文化財保護事業費追加 (2,500千円)		
一般会計 (追加) (第2号)	国の経済危機対策による事業の追加 ・竹島水族館整備事業費 (18,000千円) ・都市公園整備事業費 (25,000千円) ・小中学校情報通信技術環境整備事業費 (89,300千円) ・小中学校施設耐震補強事業費 (744,000千円)	1,078,450	25,357,350

か等を検討していききたいと思っています。  
**その他の議案**

- 監査委員の選任 (第42号議案)
  - 委員廣濱幹雄氏の任期満了に伴い、太田市夫氏を選任することに同意しました。
  - 人権擁護委員の候補者の推薦 (第43号議案)
  - 市道の路線認定、廃止及び変更 (第44号議案)
- 鹿島浜田東山1号線はじめ4路線を認定し、内野3号線はじめ4路線を廃止します。また、西中田10号線を変更します。



# 委員会通信

## 3常任委員会 管内視察を行う

総務、経済、文教の各常任委員会は、いずれも5月下旬に委員会を開き、関係部署の事務概要の説明を受けるとともに、管内の視察を行いました。

総務委員会は5月21日に開き、消防本部での説明の

後、消防本部新庁舎建設予定地、情報ネットワークセンター・生命の海科学館、西浦町大山地内の急傾斜地を視察しました。

経済委員会は5月25日に開き、蒲郡北駅前広場、国道23号蒲郡バイパス蒲郡西インターチェンジアクセス道路、第2西浦配水池築造予定地、形原温泉あじさいの里、蒲郡競艇場を視察し



西浦町大山地内急傾斜地を視察する総務委員

ました。  
文教委員会は5月26日に



蒲郡西 IC アクセス道路を視察する経済委員

後、市民病院での説明の  
開き、市民病院での説明の  
後、学校給食センター、養



市立図書館で説明を受ける文教委員

護老人ホーム、ひめはる荘、  
市立図書館を視察しました。

## 他市町村議会からの視察一覧

### 《1月》

- 27日 愛知県豊橋市／市立図書館
- 29日 千葉県印西市／南駅前広場整備、くらふとフェア

### 《2月》

- 5日 岡山県浅口市／インターネット議会中継
- 10日 東京都小平市／保育園民営化
- 17日 兵庫県三木市・小野市／市民病院、学校給食
- 20日 岡山県倉敷市／競艇ナイターレース

### 《3月》

- 26日 静岡県御殿場市／南駅前広場整備
- 30日 大阪府箕面市／競艇事業、シルバー人材センター
- 31日 東京都中野区／生命の海科学館

### 《6月》

- 24日 島根県安来市／防災システム
- 29日 茨城県ひたちなか市／議会だより、議会ホームページ

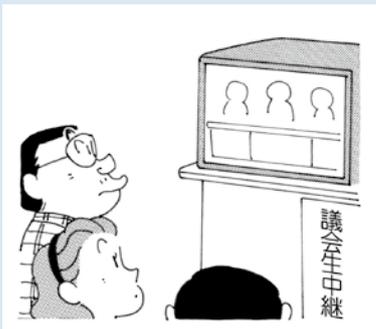
### 《7月》

- 9日 沖縄県浦添市／議会運営
- 17日 千葉県四街道市／南駅前広場整備

## 議場放映モニター

市議会では、議会の様子を放映するためのモニターを1階ロビーに設置し、本会議開催中の議場の様子を生中継しています。

モニターによる放映は、次回9月定例会でも引き続き行いますので、市役所に寄られた際にはぜひご覧ください。



●編集 議会だより編集委員会 ●発行 蒲郡市議会 ●〒443-8601 蒲郡市旭町17-1 ●TEL. 0533(66)1169 ●FAX.(66)1186

### 9月定例会の 開会日・日程は

9月市議会定例会は、9月4日(金)から開かれる予定です。

詳しい日程は、9月1日(火)に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。本会議の傍聴を希望される方は、会議当日、市役所7階の議会事務局で手続きをしてください。

また、本会議の日程と一般質問の内容は、市役所のロビーや市議会ホームページでもお知らせします。

### 点字版とテープ版も 発行しています

議会だよりは、目の不自由な方向けに、点字版とテープ版を発行しています。点字版は、点訳奉仕グループ「あい」の皆さん、テープ版は、ボランティアグループ「声」の皆さんのご協力で行われています。また、議会だよりは、三



河塩津駅を除く市内JR3駅のほか市民病院や市役所出張所にも置いてあります。なお、インターネットでもご覧いただけます。



思わぬインフルエンザ騒動で、蒲郡でも感染者が確認されました。観光地として心配もされましたが、大事に至らず落ち着きを取り戻しています。

6月市議会定例会は条例・人事・補正予算など11の議案と1つの意見書案を、すべて可決して終了しました。

今議会では、国の15兆円にも及ぶ補正予算に基づいて、蒲郡市で行われる様々な事業について、説明がなされ議論されました。

各事業部から「緊急経済対策」の要望が出され、市全体としての優先順位を考慮して、最終的には市長が判断し議会が承認します。

大地震に備えた小中学校の耐震工事が、予算の大半を占めることとなりますが、かけがえのない子供たちの安全のために各会派が一致して賛成したものです。

#### [議会だより編集委員]

- ◎伊藤 勝美 ○飛田 常年 鈴木八重久
- 大場 康議 柴田 安彦 喚田 孝博
- 荘田 博己

(◎は委員長、○は副委員長)



私たちが、編集委員です。

## 議会日誌

4月8日から7月17日

### 4月

- 21日 議会運営委員会理事会
- 28日 議会運営委員会理事会  
議員親睦会理事会

### 5月

- 1日 5月臨時会招集告示
- 7日 議会運営委員会
- 13日~14日 5月臨時会
- 13日 議会運営委員会
- 14日 議員親睦会総会
- 18日 正副委員長会議  
議会運営委員会理事会
- 21日 総務委員会管内視察  
5月臨時会招集告示
- 22日 東三河5市議会議長会議
- 25日 議会運営委員会  
経済委員会管内視察
- 26日 文教委員会管内視察
- 28日 5月臨時会
- 29日 議会運営委員会理事会

### 6月

- 1日 6月定例会招集告示  
議案説明会
- 4日 議会運営委員会
- 10日~22日 6月定例会
- 16日 議会運営委員会理事会  
議会運営委員会
- 22日 議会だより編集委員会
- 23日 市民病院検討会

### 7月

- 6日 議会だより編集委員会
- 7日~8日  
議会運営委員会行政視察
- 13日~15日  
文教委員会行政視察
- 15日~17日  
総務委員会行政視察  
経済委員会行政視察

